

新しい時代の学びの環境整備 先導的開発事業〔委託事業〕

「令和時代の学校施設スタンダード」となる施設整備モデルの構築に向けて

令和3年度予算案
21,899千円

趣旨

- Society5.0時代・ポストコロナ社会において、「令和の日本型学校教育」の構築を目指して、一人一台端末環境のもと、個別最適な学びと協働的な学びの実現が求められており、新時代の学びに対応した施設環境の整備のモデルを構築するため、最新の知見等も踏まえた先導的なモデル研究を実施し、横展開を図る。

事業内容

- 学校設置者がコンサルタント等と連携し、学校建築や学校教育の有識者、学校関係者、地域住民、首長部局等を交えた協議会を設置し、基本計画等の策定、計画・設計プロセスの整理を実施。 ※文部科学省の有識者会議委員（学校建築、学校教育の専門家）もアドバイザー等として派遣
- 国は、本事業を通じて、新時代の学びに対応した学校施設の計画・設計事例を蓄積、横展開を図る。

公募対象

- (1) 国公立の小中学校の設置者
- (2) (1) 以外の法人（特定非営利活動法人、民間企業等）
※(2)の場合、計画策定の対象校の学校設置者と連携して実施

採択件数

- 4～5件程度選定予定（1件当たり：4～5百万円程度）
※新築2件程度、既存施設のリノベーション3件程度をイメージ

テーマ

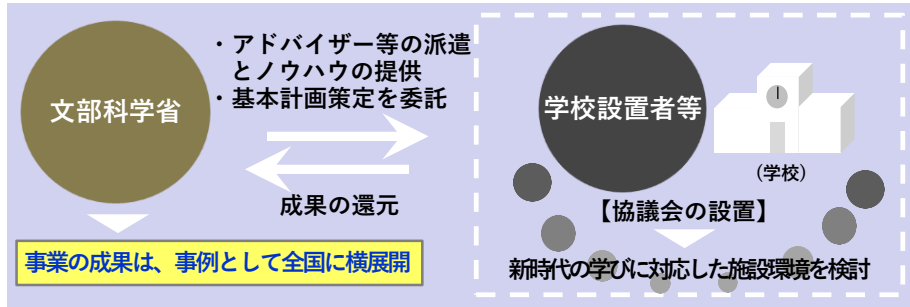
以下の視点（例）を踏まえた新たな学校施設モデル研究を募集

- ・ 少人数による指導体制への対応を含め、個別最適な学び等を実現する施設環境の整備
- ・ 多様な学習活動に対応する施設環境の整備
- ・ 新しい生活様式を踏まえ、健やかに学習・生活できる環境の整備
- ・ 人口動態等を踏まえた効率的・効果的な施設環境の整備

上記のほか、学校の特色・魅力を引き出す創意工夫をプラス

成果物

新しい時代の学びに対応した学校施設モデルの基本計画及びビジュアルイメージ（学びのイメージ含む）



委託範囲プロセス

申請・採択

1年目

基本計画

2年目 実施設計

3年目 工事

申請

> 採択・キックオフ

>

中間報告(9-10月)

>

最終報告(年度末)

>

適時の報告

採択後

委託対象

国としてもフォローアップ

採択後、事業実施者等を対象にキックオフミーティングを開催。

- 本モデル研究を実施するための協議会の設置・運営に係る経費を支援（ワークショップ等を通じ、新時代の学びや具体的な施設環境について議論）
- 新時代の学びに対応した学校施設モデルの基本計画の策定及びスケッチ作成に係る経費を支援

学校施設環境改善交付金等にて実施設計や改修工事等を支援。

